府中市障害者計画・障害福祉計画(第8期)・障害児福祉計画(第4期) 策定のための調査 調査概要(案)

1 調査目的

本調査は、障害者福祉に関する意見や要望を把握することにより、府中市障害者計画・障害福祉計画 (第8期)・障害児福祉計画 (第4期)の策定のための基礎資料を得ることを目的とする。

2 実施概要

本調査では次の4種類のアンケートを行います。

区分	調査名	対象者	サンプリング	調査方法
調査1	障害のある人の 調査	市内の 18 歳以上の障害者 手帳所持者、自立支援医療 受給者証所持者、特定医療 費受給者証所持者 【配布数】 2,300 人 【内訳】 ①身体障害者 1,017 人 ②知的障害者 258 人 ③精神障害者 406 人 ④自立支援医療受給者 150 人 ⑤難病患者 469 人	①市内に居住する 18 歳以上の身体障害者手帳所持者を無作為抽出 ②市内に居住する 18 歳以上の愛の手帳所持者より無作為抽出 ③市内に居住する 18 歳以上の精神障害者保健福祉手帳所持者より無作為抽出 ④市内に居住する 18 歳以上の自立支援医療受給者証所持者より無作為抽出 ⑤市内に居住する 18 歳以上の自定援医療受給者証所持者より無作為抽出	郵送配布・回収 (督促礼状1回)
調査2	子どもの育ちや 発達に関する調 査	市内の 18 歳未満の障害者 手帳所持者、特障害児婦所持者 給付費受給者証所持者 (配布数) 1,000 人 (内訳) 1,000 人 (内訳) 112 人 ②知的障害児 340 人 ②知神障害児 340 人 ③精病患者 5人 ⑤児童通所受給者証者 等別による (の) 112 人 ②知神障害児 340 人 ③精病患者 5人 ⑥児童通所受給者証者 第二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	①市内に居住する 18 歳未満の身体障害者手帳所持者 ②市内に居住する 18 歳未満の愛の手帳所持者 ③市内に居住する 18 歳未満の精神障害者保健福祉手帳所持者 ④市内に居住する 18 歳未満の特定医療費受給者証所持者 ⑤市内に居住する 18 歳未満の特定医療費受給者証所持者 ⑤市内に居住する 18 歳未満の児童通所受給者証・障害福祉サービス受給者証所持者より無作為抽出	郵送配布・回収 (督促礼状 1 回)
調査3	障害者福祉関連 団体調査	市内の障害者福祉団体 11 団体	市内の障害者福祉団体(当事者 団体・家族会)	メールで実施
調査4	障害福祉サービ ス事業所調査	障害者福祉サービス事業所 300 事業所程度	市内の障害福祉サービス事業所	郵送配布、郵送・ WEB 回収 (督促礼状1回)

3 調査項目(案)

(1)調査1 障害のある人への調査

	調査項目	問番号	設問	新規設問	3分野 共通質問
		F 1	記入者		
		F 2	(1)性別、(2)年齢		
		F 3	居住地域		
		F 4	同居者		
_	# + #		所持する手帳(手帳の程度)、自立支援医療の受給の有		
Α	基本属性	F 5	無および特定医療費受給者証を受給している対象の疾病		
		F 6	身体障害者手帳に記載された項目		
		F 7	精神保健福祉手帳の交付対象となった疾患	0	
		F 8	障害・難病が生じた時期		
		F 9	(1)収入源、(2)年収		
		問1	住居形態		
В	住まい	問2	住居について困っていること(1)設計・設備、(2) 住宅事情		
		問3	住居の困りごとに対して希望する支援		
		問4	日常生活の状況(ADL等)(1)~(11)		
		問5	介助の状況		
	_ ,,, ,, ,-	問5-1	(1)介助を頼める人、(2)主な介助者		
С	日常生活	問5-2	公的サービスによる介助の頻度		
		問5-3	家族等介助の頻度		
		問5-4	将来の不安なこと		
		問6	障害福祉サービスの利用状況、利用意向(1)~(8)		
	障害福祉	問6-1	障害福祉サービスの満足度		
+	ナービスの利用	問6-2	サービスの不満な理由		
		問7	外出の頻度		
		問8	外出の際に受けている制度	0	
E	日ごろの活動	問9	受けているサービスについて感じていること	0	
_	ロC・Jの加到	問 10	市内のバリアフリー環境の整備状況の満足度		
		問 10-1	不満な理由(バリア等)		
		問 11	現在の仕事		
		問 11-1	仕事上の不安		
F	就労	問 11-2	仕事をしていない理由		
'	孙力	問 12	今後したい仕事		
		問 13	7後0たい江争 障害のある人が働くために希望すること		
		問 14	情報の入手先		
		問 15	•	0	
		ID 13	利用している情報通信機器 利用しているSNS(ソーシャル・ネットワーク・サー		
		問 16	ビス)	0	
		問 17	相談できる人の有無		0
	情報・相談・	問 17-1	相談先		
;	権利擁護	問 18	どこに相談したらよいか分からない悩みはあるか	0	0
		問 18-1	悩みの内容	0	0
		問 19	介助の負担を軽減するために重要なこと	0	
		問 20	市内の相談機関等の認知度・利用状況(1)~(4)		
		問 21	市内の相談機関等に求めること		
		問 22	成年後見人等にやってほしいこと		

	調査項目	問番号	設問	新規設問	3分野 共通質問
		問 23	緊急時の単独避難		
		問 24	具体的な援助者		
Н	防災	問 25	災害時の不安や心配ごと		
П	別火	問 26	避難場所で希望する配慮		
		問 27	災害時に協働で進める地域の支え合い		
		問 28	災害対策としてふだんから行っていること		
		問 29	入院経験の有無		
T	医療	問 29-1	退院するにあたっての困りごと		
1	△ 1尔	問 30	現在受けている医療		
		問 30-1	通院での困りごと		
		問 31	近所づきあいの現状		0
		問 32	(1)~(8)の項目について		
			①地域で頼みたいこと、②頼まれたらできること		
		問 33	地域活動への参加程度		
		問 33-1	参加している地域活動の種類		
		問 33-2	参加しない理由		
L	地域共生社会	問 34	今後参加したい、継続して参加したい地域活動		
	心场六二江厶	問 35	市民のノーマライゼーションの理解		
		問 35-1	どのようなことがあれば理解されていると思うか		
		問 36	必要とする合理的配慮		
		問 37	地域の一員として安心して自分らしい暮らしができてい		
			るか		
		問 37-1	自分らしい暮らしができていない理由		
		問 38	主観的幸福度	0	0
		問 39	充実を望む施策		
K	施策	問 40	府中市は暮らしやすい街か	0	0
' \	אישוע	問 41	府中市への居住継続意向	0	0
		問 42	市への要望<自由回答>		

② 前回調査(R1)から削除した項目

調査項目	前回 問番号	設問	備考・理由
G 情報・相談・ 権利擁護	問 16	成年後見制度を利用しやすくするため に必要なこと	前回調査から変化があまりないと思わ れることと、質問を減らしたいため。

(2)調査2 子どもの育ちや発達に関する調査

	調査項目	問番号	設問	新規設問	3分野 共通質問
		F 1	記入者		
		F 2	居住地域		
		F 3	宛名のお子さんの(1)性別、(2)年齢		
			宛名のお子さんが所持する手帳(手帳の程度)、特定医		
Α	基本属性	F 4	療費受給者証の有無(対象疾病)、児童通所受給者証・		
			障害福祉サービス受給者証(利用中のサービス)		
		F 5	身体障害者手帳に記載された項目		
		F 6	宛名のお子さんに障害・疾病が生じた時期		
		F 7	宛名のお子さんの同居者		
_		問1	通園・通学先		
В	通園・通学	問1-1	通園・通学での困りごと		
		問2	住居形態		
	/ 	BB O	住居について困っていること		
С	住まい	問3	(1)設計・設備、(2)住宅事情		
		問4	住居の困りごとに対して希望する支援		
		問5	介助の状況		
_	人中の出口	問5-1	(1)介助を頼める人、(2)主な介助者		
D	介助の状況	問5-2	公的サービスによる介助の頻度		
		問5-3	家族等介助の頻度		
		問6	福祉サービスの利用状況、利用意向(1)~(15)		
_	ᅓᆉᆉ	問6-1	福祉サービスの満足度		
	福祉サービス	問6-2	支援を受ける上での困りごと		
U)1	钊用	問7	外出の際に受けている制度	0	
		問8	受けているサービスについて感じていること	0	
		問9	不安や疑問を感じた時期		
		問 10	どこ(誰)かに相談したか		
		問 10-1	相談して、効果があったか	0	
_	育ちや発達の	問 11	育ちや発達に関する診断の有無		
F 状況			市内の相談機関等の認知度・利用状況(1)~(5)		
1/\/	/L	問 12	(「子ども発達支援センター あゆの子」を「子ども	0	
			発達支援センター はばたき」に変更)		
		問 13	ライフステージに応じた支援として希望すること		
		問 14	お子さんの将来の希望		
		問 15	災害時の不安や心配ごと		
G	防災	問 16	災害対策としてふだんから行っていること		
		問 17	避難場所で希望する配慮		
		問 18	現在何らかの医療・医療的ケアを必要としているか		
Н	医療	問 18-1	現在必要とする医療・医療的ケア		
		問 18-2	医療・医療的ケアの実施にあたっての困りごと		
		問 19	市民のノーマライゼーションの理解		
I 地 会	地域・共生社	問 19-1	どのようなことがあれば理解されていると思うか		
		問 20	必要とする合理的配慮		
		問 21	地域がお子さんの成長を支えてくれていると感じるか		
		問 22	市内のバリアフリー環境の整備状況の満足度		
		問 22-1	不満な理由(バリア等)		
J	施策	問 23	充実を望む施策	0	
			※子どもの意見表明権のための支援等追加		
		問 24	市への要望<自由回答>		

	調査項目	問番号	設問	新規設問	3分野 共通質問
		問 25	主な養育者		
		問 26	保護者の年齢		
		問 27	保護者の就労状況		
		問 28	(1)収入源、(2)世帯の年収		
		問 29	近所づきあいの現状		
		問 30	どこに相談したらよいか分からない悩みはあるか	0	0
K	保護者の状況	問 30-1	悩みの内容	0	0
	休暖有切扒沉	問 31	相談できる人の有無		0
		問 31-1	相談先		
		問 32	情報の入手先の現状と希望	0	
		問 33	亡くなった後のことでの不安	0	
		問 34	主観的健康観	0	0
		問 35	主観的幸福度	0	0
		問 36	養育の負担感・ストレス等軽減のために重要なこと		

② 前回調査(R1)から削除した項目

調査項目	前回 問番号	設問	備考・理由
G 防災	問 16	災害時に協働で進める地域の支え合い	前回調査から変化があまりない と思われることと、質問を減ら したいため。

(3)調查3 障害者福祉団体調査

	調査項目	問番号	設問	新規設問
		問1	団体の名称・連絡先	
		問2	設立年	
		問3	会員数、運営に携わっている人数	
		問4	活動拠点の有無	
		問4-1	活動拠点の具体的な場所<自由回答>	
		問5	運営経費の収入源	
Α	活動状況	問6	活動の担い手の現在の充足度と今後の充実意向 (1)活動する上で足りているか、(2)今後の充実に向けて	
		問6-1	活動の担い手を増やすための取り組みの有無	
		問6-2	活動の担い手を増やすための具体的な取り組み内容	
		問7	活動する上で困っていること	
		問8	①活動内容<自由回答> ②団体の活躍の場としてやってみたいこと	
		問9	市の相談支援体制に望むこと	
В	相談支援体制	問 10	ピアカウンセリング等、障害のある人への相談についてできるこ と	
		BB 11	①合理的配慮がなされていない、差別を感じる場面	
		問 11	②差別等の解消に向け、市と団体とともに取り組めること	
С	災害時の支援	問 12	①災害時の避難や避難生活において、障害のある人への支援でできること ②災害時に必要な支援	
D 問題	制度の谷間の 風	問 13	制度の谷間にある人が地域で安心して暮らすためにできる支援	
Е	地域共生社会	問 14	地域共生社会の実現に向けて、必要な様々な団体や事業者等との協働でできること	
づくりに向けた 力意向	くりに向けた協	問 15	地域共生社会に向けて、意識啓発で協力できること	
	意向	問 16	協働したい団体・事業者・企業(障害福祉分野以外も含む)とそ の理由	0
	Π άν (+1) Δ= Δ Δ ε - <i>λ</i> -λ-	問 17	障害のある方を取り巻く現状や身近で感じている課題、府中市に 希望すること<計画書にそって 18 項目、自由回答>	
	障害福祉施策 Oいて	問 18	市全体をみたときに、不足していると思われるサービスや支援< 自由回答>	
		問 19	府中市の障害のある人の施策に関しての意見・要望<自由回答>	

(4)調査4 障害福祉サービス事業所

田田	調査項目	問番号	設問	新規設問
体制 問3 インフォーマルサービスに対する利用者の希望 C 今後の事業連問しての事業の採算問ち 運営上の不安問も同ち 運営上の不安問題 サービスを実施する上での問題 問7 今後5年間の利用者受入れ余裕 問8 今後5年間の利用者受入れ余裕 問9 人材の確保・育成・定着に関する課題 ○ 日間 10 人材の確保・育成・定着に関する課題 ○ 日間 11 人材の育成・定着支援に関する取組(効果があったこと) ○ 日間 12 府中市に期待すること <自由回答> ○ 日間 13 権利擁護のために取り組んでいること 第 日 15 第三者評価の実施の有無問 15-1 実施の予定はない理由問 15 第三者評価の実施の有無問 15-1 実施の予定はない理由問 16 障害者の虐待防止に向けて取り組んでいること 第 第 17-1 (虐待などの場面に遭遇した経験(虐待などの場面に遭遇した事業所に)具体的な内容、対応 <自由回答> 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために事業所として特に必要なこと 問 17 地域共生社会の場面にできること 別 18 地域共生社会の表現に向けて、必要な様々な団体や事業者等との協働できること 問 21 災害時に事業所として協力できること 問 22 (就労系事業所に)就労選択支援の検討状況 ○ 日 23 (就労系事業所に)就労選択支援の検討状況 ○ 日 24 (就労系事業所に)就労選択支援の検討状況 ○ 日 25 就労選択支援の拡充のために必要なこと ○ 日 26 医療的ケア児者に対する支援の実施状況	A 活動状況	問1	(1) 事業所の名称等(名称、所在地、HP、担当者名、連絡先) (2) 事業別の定員数と利用者数 (3) ①必要性を感じるが実施していない事業	
関4 昨年度の事業の採算 関5 運営上の不安 関6 サービスを実施する上での問題 関7 今後5年間の事業規模拡大予定 関8 今後5年間の事業規模拡大予定 関8 今後5年間の利用者受入れ余裕 関9 人材の確保・育成・定着支援 関10 人材の確保・育成・定着支援に関する取組(効果があったこと) ○ 関11 人材の育成・定着支援に関する取組(効果があったこと) ○ 関12 府中市に期待すること<自由回答> ○ 関13 権利擁護のために取り組んでいること 関14 苦情・意見等を取り入れるため、工夫していること ※ 関15 第三者評価の実施の有無 関15-1 実施の予定はない理由 関16 障害者の虐待防止に向けて取り組んでいること ※ 関17-1 [で書名の虐待防止に向けて取り組んでいること 関17 サービスを提供する上で、虐待などの場面に遭遇した経験 (虐待などの場面に遭遇した事業所に)具体的な内容、対応 <自由回答> 世域共生社会 関17-1 「で得などの場面に遭遇した事業所に)具体的な内容、対応 <自由回答> 世域共生社会の宗現に向けて、合理的配慮を進めていくために事業所として特に必要なこと 世域共生社会に向けて、意識啓発で協力できること 関20 地域共生社会に向けて、意識啓発で協力できること 関21 災害時に事業所として協力できること 関22 (就労系事業所に)就労選択支援の検討状況 ○ 同	B サービス提供	問2		
日	体制	問3	インフォーマルサービスに対する利用者の希望	
日		問4	昨年度の事業の採算	
関7	て	問5	運営上の不安	
問7 今後5年間の事業規模拡大予定 問8 今後5年間の利用者受入れ余裕 問9 人材の確保・育成・定着に関する課題 ○ 問10 人材の確保・採用に関する取組(効果があったこと) 同11 人材の育成・定着支援に関する取組(効果があったこと) 同12 府中市に期待すること<自由回答> ○ 同13 権利擁護のために取り組んでいること 問14 苦情・意見等を取り入れるため、工夫していること ※ 問15 第三者評価の実施の有無 問15-1 実施の予定はない理由 問16 障害者の虐待防止に向けて取り組んでいること 問17 サービスを提供する上で、虐待などの場面に遭遇した経験(「虐待などの場面に遭遇した経験(「虐待などの場面に遭遇した事業所に)具体的な内容、対応 <自由回答> 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために事業所として特に必要なこと 問18 社会的障壁の除去に向けて、必要な様々な団体や事業者等との協働でできること 問20 地域共生社会の実現に向けて、意識啓発で協力できること 問21 災害時に事業所として協力できること 問22 (就労系事業所に)就労選択支援の検討状況 ○ 同23 (就労系事業所に)就労選択支援の検討状況 ○ 同24 (就労系事業所に)就労選択支援を行うメリット ○ 同25 就労選択支援の拡充のために必要なこと ○ 同25 就労選択支援の拡充のために必要なこと ○ 同26 医療的ケア児者に対する支援の実施状況		問6	サービスを実施する上での問題	
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	古	問7	今後5年間の事業規模拡大予定	
D 人材の確保・ 育成・定着支援 問10 人材の確保・採用に関する取組(効果があったこと) 問11 人材の育成・定着支援に関する取組(効果があったこと) 同12 府中市に期待すること<自由回答> 同13 権利擁護のために取り組んでいること 問14 苦情・意見等を取り入れるため、工夫していること ※ 問15 第三者評価の実施の有無 問15-1 実施の予定はない理由 問16 障害者の虐待防止に向けて取り組んでいること 問17 サービスを提供する上で、虐待などの場面に遭遇した経験(虐待などの場面に遭遇した事業所に)具体的な内容、対応〈自由回答> 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために事業所として特に必要なこと F 地域共生社会づくりに向けた協力意向 問19 地域共生社会の実現に向けて、必要な様々な団体や事業者等との協働でできること 問21 災害時に事業所として協力できること 問22 (就労系事業所に)就労選択支援の検討状況 ○ G 就労選択支援 問23 (就労系事業所に)就労選択支援の検討状況 ○ 日24 (就労系事業所に)就労選択支援に取り組む上での大きな問題 ○ 同24 (就労系事業所に)就労選択支援に取り組む上での大きな問題 ○ 問25 就労選択支援の拡充のために必要なこと ○ 問26 医療的ケア児者に対する支援の実施状況 ○		問8	今後5年間の利用者受入れ余裕	
問 11		問9	人材の確保・育成・定着に関する課題	0
問12 府中市に期待することく自由回答 > ○		問 10	人材の確保・採用に関する取組(効果があったこと)	0
問 13 権利擁護のために取り組んでいること 問 14 苦情・意見等を取り入れるため、工夫していること ※ 問 15 第三者評価の実施の有無 問 15-1 実施の予定はない理由 問 16 障害者の虐待防止に向けて取り組んでいること 問 17 サービスを提供する上で、虐待などの場面に遭遇した経験 (虐待などの場面に遭遇した事業所に)具体的な内容、対応 <自由回答> 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために事業所として特に必要なこと 問 18 地域共生社会の実現に向けて、必要な様々な団体や事業者等と の協働でできること 問 20 地域共生社会の実現に向けて、必要な様々な団体や事業者等と の協働でできること 問 21 災害時に事業所として協力できること 問 22 (就労系事業所に)就労選択支援の検討状況 ○ 問 23 (就労系事業所に)就労選択支援の検討状況 ○ 同 24 (就労系事業所に)就労選択支援に取り組む上での大きな問題 回 25 就労選択支援の拡充のために必要なこと 回 26 医療的ケア児者に対する支援の実施状況	育成・定着支援	問11	人材の育成・定着支援に関する取組(効果があったこと)	0
問 14		問 12	府中市に期待すること<自由回答>	0
問 15 第三者評価の実施の有無 問 15-1 実施の予定はない理由 問 16 障害者の虐待防止に向けて取り組んでいること 問 17 サービスを提供する上で、虐待などの場面に遭遇した経験 (虐待などの場面に遭遇した事業所に)具体的な内容、対応 <自由回答 > 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために事業所として特に必要なこと 問 19 地域共生社会の実現に向けて、必要な様々な団体や事業者等と の協働でできること 問 20 地域共生社会に向けて、意識啓発で協力できること 問 21 災害時に事業所として協力できること 問 22 (就労系事業所に)就労選択支援の検討状況 ○ 問 23 (就労系事業所に)就労選択支援の検討状況 ○ 同 24 (就労系事業所に)就労選択支援に取り組む上での大きな問題 ○ 問 25 就労選択支援の拡充のために必要なこと ○ 同 26 医療的ケア児者に対する支援の実施状況		問 13	権利擁護のために取り組んでいること	
世 利用者本位の しくみ 問 15-1 実施の予定はない理由 問 16 障害者の虐待防止に向けて取り組んでいること 問 17 サービスを提供する上で、虐待などの場面に遭遇した経験 (虐待などの場面に遭遇した事業所に)具体的な内容、対応 <自由回答 > 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために事業所として特に必要なこと 地域共生社会の実現に向けて、必要な様々な団体や事業者等との協働でできること 問 20 地域共生社会に向けて、意識啓発で協力できること 問 21 災害時に事業所として協力できること 問 22 (就労系事業所に)就労選択支援の検討状況 ○ 間 23 (就労系事業所に)就労選択支援を行うメリット □ 18 に対労逐択支援に取り組む上での大きな問題 ○ 間 25 就労選択支援の拡充のために必要なこと □ 18 26 医療的ケア児者に対する支援の実施状況		問 14	苦情・意見等を取り入れるため、工夫していること ※	
□ 利用者本位の しくみ 問 16 障害者の虐待防止に向けて取り組んでいること 問 17 サービスを提供する上で、虐待などの場面に遭遇した経験 (虐待などの場面に遭遇した事業所に)具体的な内容、対応 く自由回答 > 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために事業所として特に必要なこと 地域共生社会の実現に向けて、必要な様々な団体や事業者等と の協働でできること 問 20 地域共生社会に向けて、意識啓発で協力できること 問 20 地域共生社会に向けて、意識啓発で協力できること 問 21 災害時に事業所として協力できること 問 22 (就労系事業所に)就労選択支援の検討状況 ○ 問 23 (就労系事業所に)就労選択支援の検討状況 ○ 同 24 (就労系事業所に)就労選択支援に取り組む上での大きな問題 ○ 就労選択支援の拡充のために必要なこと ○ 問 26 医療的ケア児者に対する支援の実施状況		問 15	第三者評価の実施の有無	
日 17		問 15-1	実施の予定はない理由	
同 17		問 16	障害者の虐待防止に向けて取り組んでいること	
G	しくみ	問 17		
問 18 社会的障壁の除去に向けて、合理的配慮を進めていくために事業所として特に必要なこと		問 17-1		
F地域共生社会 の協働でできること の協働でできること の協働でできること の協働でできること 問 20 地域共生社会に向けて、意識啓発で協力できること 問 21 災害時に事業所として協力できること 問 21 災害時に事業所として協力できること 問 22 (就労系事業所に)就労選択支援の検討状況 ○ 問 23 (就労系事業所に)就労選択支援を行うメリット ○ 問 24 (就労系事業所に)就労選択支援に取り組む上での大きな問題 ○ 問 25 就労選択支援の拡充のために必要なこと ○ 問 26 医療的ケア児者に対する支援の実施状況		問 18		
F 地域共生社会 づくりに向けた協力意向 問 19 地域共生社会の実現に向けて、必要な様々な団体や事業者等との協働でできること 問 20 地域共生社会に向けて、意識啓発で協力できること 問 21 災害時に事業所として協力できること 問 22 (就労系事業所に)就労選択支援の検討状況 ○ 問 23 (就労系事業所に)就労選択支援を行うメリット ○ 問 24 (就労系事業所に)就労選択支援に取り組む上での大きな問題 ○ 問 25 就労選択支援の拡充のために必要なこと ○ 問 26 医療的ケア児者に対する支援の実施状況				
つるのは側でできること		BB 40		
力意向 問 20 地域共生社会に向けて、意識啓発で協力できること 問 21 災害時に事業所として協力できること G 就労選択支援 問 22 (就労系事業所に)就労選択支援の検討状況 ○ 問 23 (就労系事業所に)就労選択支援を行うメリット ○ 問 24 (就労系事業所に)就労選択支援に取り組む上での大きな問題 ○ 問 25 就労選択支援の拡充のために必要なこと ○ 問 26 医療的ケア児者に対する支援の実施状況		問 19	の協働でできること	
B 21 災害時に事業所として協力できること B 22 (就労系事業所に)就労選択支援の検討状況 B 23 (就労系事業所に)就労選択支援を行うメリット B 24 (就労系事業所に)就労選択支援に取り組む上での大きな問題 B 25 就労選択支援の拡充のために必要なこと B 26 医療的ケア児者に対する支援の実施状況		問 20		
G 就労選択支援 問 22 (就労系事業所に)就労選択支援の検討状況 ○ 問 23 (就労系事業所に)就労選択支援を行うメリット ○ 問 24 (就労系事業所に)就労選択支援に取り組む上での大きな問題 ○ 問 25 就労選択支援の拡充のために必要なこと ○ 問 26 医療的ケア児者に対する支援の実施状況 ○	기짜미	問 21	災害時に事業所として協力できること	
G 机分送状文接 問 24 (就労系事業所に)就労選択支援に取り組む上での大きな問題 ○ 問 25 就労選択支援の拡充のために必要なこと ○ 問 26 医療的ケア児者に対する支援の実施状況		問 22		0
G 机分送状文接 問 24 (就労系事業所に)就労選択支援に取り組む上での大きな問題 ○ 問 25 就労選択支援の拡充のために必要なこと ○ 問 26 医療的ケア児者に対する支援の実施状況		問 23	(就労系事業所に)就労選択支援を行うメリット	0
問 25就労選択支援の拡充のために必要なこと○問 26医療的ケア児者に対する支援の実施状況	G 就穷選択支援		(就労系事業所に)就労選択支援に取り組む上での大きな問題	
問 26 医療的ケア児者に対する支援の実施状況			就労選択支援の拡充のために必要なこと	0
		ł	医療的ケア児者に対する支援の実施状況	
PL 20-L - ファを夫肔している光白の人数		問 26-1	ケアを実施している児者の人数	
H 新たに取り組 問 26-2 実施における課題		問 26-2	実施における課題	
みたい支援 問 27 強度行動障害のある方に対する支援の実施状況	みたい文援			
問 27-1 実施における課題				
I 力を入れてい 問 28 最も力を入れていること<自由回答>	I 力を入れてい	-		
る点 問 29 利用者に対して特に力を入れていること<自由回答>				
問30 市の障害福祉サービス充実に向けて必要なこと				
J 市への要望 問 31 障害福祉サービスについての要望 ※ <自由回答>	J 市への要望			
問32 利用者や家族から寄せられた意見、要望<自由回答>				

② 前回調査(R4)から削除した項目

調査項目	前回 問番号	設問	備考・理由
F 感染症対策	問 19	感染症対策についての取組	今回調査する必要は
了一念未证对束 	問 20	新型コロナウイルス対策で困ったこと	ないため
	問 21	医療的ケア児者やその支援方法について知っている か	
	問 22	医療的ケア児者に対する支援の実施状況	
	問 22-1	(実施している場合)医療的ケアを実施している児 者の人数	
G 医療的ケア児	問 22-2	医療的ケアを実施する(又は実施予定とする)ため の事業運営上の工夫等	
者への支援	問 22-3	医療的ケアの実施に当たって生じた事業運営への影響や、円滑な事業運営を図る上での課題	
	問 22-4	(実施していない場合)実施していない理由	医療的ケア児者に対
	問 22-5	利用者からの希望があれば実施を検討するか	する支援、強度行動
	問 22-6	今後、医療的ケアの実施を積極的に検討するために 重要な事項	障害のある方に対す る支援の質問数を削
	問 23	強度行動障害のある方に対する支援の実施状況	減し、「F 新たに
	<mark>問 23-1</mark>	(実施している場合)支援に携わる人数	取り組みたい支援」
	問 23-2	強度行動障害のある方に対する支援を実施する(又 は実施予定とする)ための事業運営上の工夫等	にまとめている。
H 強度行動障害 の方への支援	問 23-3	強度行動障害のある方に対する支援の実施に当たっ て生じた事業運営への影響や、円滑な事業運営を図 る上での課題	
	問 23-4	(実施していない場合)実施していない理由	
	問 23-5	今後、強度行動障害のある方の支援の実施を積極的 に検討するために重要な事項	
	問 24	強度行動障害支援者に対するサービスの開設に向けて必要なこと	

※比較等を行うため、G・H すべてを削除するのではなく、黄色い部分について調査を行う